

2009年6月16日

お取引先様各位

株式会社クスリのカツマタ
代表取締役 勝又 泰夫

住友商事株式会社との資本業務提携に関するご案内

拝啓

時下貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り有難く厚く御礼申し上げます。

さて、この度、当社と住友商事株式会社は資本業務提携を行うことで合意いたしましたので、以下にご報告申し上げます。当社と住友商事とは、今後も地域社会に貢献する企業作りを積極的に行う方針です。長年のご用命に厚く感謝申し上げますとともに、本件のご理解と、今後のご支援を心よりお願い申し上げます。

提携の趣旨

当社は1983年の創業以来、真に顧客サービスに寄与するMD施策と、教育体制の充実強化による従業員の質の高さを強みとする「都市型ドラッグストア」業態を確立しております。皆様のご支援を賜りまして、東京都城南エリアから川崎、横浜をドミナントとして現在、25店舗を展開するまでに成長し、売上、利益共に順調に成長を続けております。

当社は、今般の資本業務提携により、今以上に高いレベルで追及し、21世紀に求められる新たな業態を早期に確立できると考えております。具体的には、

- (1) クスリのカツマタのMD、販売等のノウハウをトモズ等住商ドラッグストアーズ店舗で活用することによる顧客支持の向上、店舗競争力の強化が図れる点
 - (2) クスリのカツマタにおいて住商ドラッグストアーズの調剤オペレーションのノウハウの活用及び住友商事の消費者直結型事業ノウハウの活用が図れる点
 - (3) クスリのカツマタと住商ドラッグストアーズの経営ビジョンが共有でき、かつ、ドミナントエリアの補完ができる点
 - (4) 両社合わせて売上高は500億円を超える規模となり、クスリのカツマタの商品開発ノウハウと住友商事の信用力、仕入リソースの融合により調剤・物販含めたPB商品開発の深耕が図れる点
- 等、事業上のシナジーは非常に大きく、首都圏で圧倒的な存在感を示す、極めて質の高い競争力があるドラッグストアチェーンの形成を目指します。

提携の内容

両社の提携関係を強固なものとするため、7月中旬を目途に当社株式の約99.5%を住友商事に譲渡する予定です。

今後の体制について

今後につきましては、従来通りの担当者、現在の本部所在地にて業務を継続してまいります。また、店舗につきましても引き続き「クスリのカツマタ」の名称にて営業を継続いたします。

経営陣につきましては、現在の代表取締役社長である勝又泰夫が取締役会長、また住商ドラッグストアーズの取締役に就任いたします。そして住友商事リテイル&ウェルネス事業部長である師岡伸生が代表取締役社長に就任いたします。

敬具